



【先週 12月26日～1月1日の外食の出来事】

■ドバイ万博出店・スシロー従業員10人感染

ドバイ万博に出店していた回転ずし店「スシロー」で、従業員10人が新型コロナに感染。万博の日本館に併設される店舗で今月中旬、体調不良者が出たため全員を検査したところ、20日の時点で従業員10人の感染が確認。

■デリバリー市場、21年は8千億円で 売上比9%で、まだ伸びる

2021年のデリバリー市場は約7975億円で前年比27%増程度となる見込み。外食・中食市場情報サービスを提供するエスピーディー・ジャパン株式会社が公表した。2019年比では91%増とコロナ前の2倍近くの規模となる。

■ビーフン・フォー輸入、過去最高に

ビーフン・フォー類の2020年の全国の輸入実績は、数量・金額ともに過去最高となった。2020年には過去最高の8,464トンに達し、1988年の約6.3倍に増えた。一過性のブームではない需要が続いている。

■ハイデ日高、経常黒字転換 3～11月単独、既存店に客足戻る

2021年3～11月期の単独経常損益が10億円強の黒字になった。営業時間の短縮要請に伴う時短協力金が寄与したことに加え、10月以降に客足が戻りつつあり本業も回復基調にあることが下支えした。

■マクドナルド、木製食器と紙ストローを導入

2022年2月から一部店舗で木製食器と紙製ストローを導入する。まず神奈川県内の30店舗でプラスチック製を代替する。プラスチックごみの削減を目的として22年4月に施行されるプラスチック資源循環促進法に対応する。

■ミスド、3月から値上げ 33商品で1個10円程度

ミスタードーナツを運営するダスキンは、来年3月1日にドーナツやパイ、マフィンの33商品を値上げする。原料の小麦粉や食用油の価格が高騰しているため、現行価格から1個10円程度の値上げとなる。

■壺番屋、純利益58%増 3～11月、補助金収入が押し上げ

2021年3～11月期連結決算は、純利益が前年同期比58%増の23億円だった。新型コロナウイルス対策として営業時間の短縮要請に従い受け取った協力金など補助金収入8億6400万円が利益を押し上げた。

■飲食開業、コロナ下増加 大阪など4都市、閉鎖店跡に出店も キッチンカー5割増

飲食店の閉店が相次ぐ中、新規開業が増える現象が起きている。過去と比較可能なデータを明かした札幌、横浜、大阪、福岡4市の合計で、2021年4～9月の新規開業数は20年同期比9%増の8228店。

■丸亀製麺「かけうどん」「釜玉うどん」など値上げ

「かけうどん」「ぶっかけうどん」「ざるうどん」の“並”は、旧価格の各320円(以下、税込価格)から20円値上げし、340円に改定する。看板商品「釜揚げうどん(並)」の価格は、従来の290円に据え置く。